

第2回 安心つながり部会

	いただいたご意見	ご意見まとめ	
つながり	①	・ 人と人がつながる場としていろいろな場所があるのは良いと思うが、全体を管理している部署がないため、どれだけ周知できているのか（必要な人に情報が届いているのか）疑問。	
	②	・ どの団体でも参加したくない人が増加している。地道に声掛けしていく必要がある。	
	③	・ つながり拒否する人については、何か参加できるきっかけが必要。	
	④	・ 若い世代に情報を届けるための媒体が重要。活動主体のホームページにアクセスしたくなる、興味を持たせるような工夫が必要である。	
	⑤	・ 地域活動協議会ごとのホームページがあるが、更新できていない団体も見受けられる。統一様式のホームページを作成して見やすくし、アピールすればよいのではないか。	
	⑥	・ 地域では様々な教室があり、若い世代の参加もある。このような活動から他の活動へつながっていくのではないかと。	
	⑦	・ 地域で何か活動がある際は、メールやLINEも良いが、直接の声かけが有効だと思う。声掛けができる人を作ることが大事。	
見守り	⑧	・ 高齢者の見守りと子どもの見守り、見守る対象によって方法が異なる。どのような人が関わり、どのような場があるのか知ることが大事である。	
	⑨	・ 日常の見守りで異変があった場合、どこへどうつなげるとよいのか知られていないとただ見守っているだけに終わってしまう。つなげる先を把握しておれば意味のあ	
	⑩	・ 「見守りモデル地区」を設定して、個々の取組を軸にして区全体に広めていくのはどうか。	
	⑪	・ 日頃から自分の住む地域にどのような方々がお住まいか、積極的に把握する意識で取り組むことが大事であると思う。	
共助	⑫	・ 発災時に利用可能な施設の場所や詳細があまり知らされていない。普段の防災訓練等で広く周知されていれば、いざという時に地域と行政が協力して対応していけるのではないかと。	
	⑬	・ 阿倍野防災センターの体験コースの中に、自助を学ぶコースと共助を学ぶコースが設置されている。具体的に体感できるような内容で改めて認識できて有意義だった。このコースを体感してもらつツアーを組むのも良いと思う。	
	⑭	・ 地域の見守り隊については、教職員も参加してもらつとより効果的。	